

第5学年 表現運動
(表現 ～大変だ！○○～)

1 単元構想

単元名	表現運動（表現 ～大変だ！○○～）		
単元の目標	<p>(1) 表現の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解するとともに、いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じをひと流れの動きで即興的に踊ったり、簡単なひとまとまりの動きにして踊ったりすることができるようにする。</p> <p>(2) 自己やグループの課題の解決に向けて、表したい内容や踊りの特徴を捉えた練習や発表・交流の仕方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>(3) 運動に積極的に取り組み、互いのよさを認め合い助け合って踊ったり、場の安全に気を配ったりすることができるようにする。</p>		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<p>①表現の行い方について理解したことを話したり、実際に動いたりしている。</p> <p>②題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ることができる。</p> <p>③「はじめ～なか～おわり」の構成を工夫した簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊ることができる。</p>	<p>①自己やグループの課題を見付け、課題に応じた動きを選んだり、簡単なひとまとまりの動きを構成したりしている。</p> <p>②自己やグループの課題に応じた見合いや交流の仕方を工夫している。</p> <p>③課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。</p>	<p>①表現に積極的に取り組もうとしている。</p> <p>②互いの動きや考えのよさを認め合ったり、助け合ったりしようとしている。</p> <p>③場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとしている。</p> <p>④場の安全に気を付けている。</p>
単元終了時の児童の姿（単元のゴールの姿・期待される姿）			
互いのよさを認め、助け合う学習の中で、表したい感じを表現し、踊ることで、表現運動の楽しさや喜びを味わい、日常生活でもその他の運動に生かしたり、進んで運動に取り組もうとしたりする児童。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
「はじめ～なか～おわり」の構成で簡単なひとまとまりの動きで、表現することを楽しもう。		表現の特性に応じた楽しさや喜びを味わい、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現を「する」、お互いの動きの特徴を「見る」、お互いの動きや考えのよさを認めて「支える」、イメージを強調した表現の動きを「知る」、といった自己の適性等に応じて運動やスポーツとの多様な関わり方で楽しむこと。	

指導計画と評価計画（6時間取扱い 本時4／6）

過程	時間	学習内容・学習活動
一	1	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○場の安全に気を付けながら、表現に積極的に取り組もうとすること。（態①④） ○場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たそうとすること。（態度③） ○表現の行い方について理解したことを話したり、実際に動いたりすること。（知①） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を把握する。 ・「激しい感じ」からイメージできるものを出し合い、即興的に表現する。 ・活動を振り返り、今後の活動の見通しを持つ。
二	2	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ること。（知②） ○互いの動きや考えのよさを認め合ったり、助け合ったりしようとする。（態②） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 火山の噴火 <ul style="list-style-type: none"> ・強弱・緩急を生かしたひと流れの動きを生かして即興的な踊りを楽しむ。 ・様々な動きを出し合い、よりよい動きを共有化する。 ・グループで急変する場面を入れながらひと流れの動きで踊る。 ・交流タイムでグループの動きを見せ合う。 ・バージョンアップタイムで動きの確認をする。 ○ 大型台風接近 <ul style="list-style-type: none"> ・ひねりや回転、高低差などの動きを生かして即興的な踊りを楽しむ。 ・様々な動きを出し合い、よりよい動きを共有化する。 ・グループでひと流れの動きで踊る。 ・交流タイムでグループのよい動きを見付ける。 ・バージョンアップタイムで自分の考えた動きを伝える。
三	2	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自己やグループの課題を見付け、課題に応じた動きを選んだり、簡単なひとまとまりの動きを構成したりすること。（思①） ○自分やグループの課題に対して、練習や交流の仕方を工夫したり、課題解決のために自己や仲間と考えたことを伝えたりすること。（思②③） ○互いの動きや考えのよさを認め合ったり、助け合ったりしようとする。（態②） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「はじめ—なか—おわり」といった簡単なひとまとまりの動きを考えて踊りを楽しむ。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループでひとまとまりの動きにして踊る。 ・学習したことを生かし、課題を選択して簡単なひとまとまりの動きを考える。 ・交流タイムで群の動きについて考え、踊る。 ○ 表したいイメージが強調できるように展開を考えて動きをつなげる。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループでひとまとまりの動きにして踊る。 ・交流タイムでよい動きを見付ける。 ・バージョンアップタイムで考えたことを伝える。 ・ミニ発表会をする。
四	1	<p>【学習内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「はじめ—なか—おわり」の構成を工夫した簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊ることができる。（知③） <p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表会を行い、感想を出し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表会へ向けて最終練習を行う。 ・発表会を行う。 ・見た感想を出し合う。

※表記上の「知」…知識・技能,「思」…思考・判断・表現,「態」…主体的に学習に取り組む態度

時間	指導のポイント	評価の観点等 ★…記録に残す評価の場面で 「具体的評価規準」
1	<p>○ オリエンテーション</p> <p>表現運動での安全面の約束や、イメージを膨らませるもの、個人やグループで思考の流れがわかるものを児童がいつでも確認できるように掲示しておきましょう。</p> 	<p>【態①③④】（観察）</p> <p>【知①】（観察・学習カード）</p>
2	<p>○ 強弱や緩急を生かした動き</p> <p>火山の噴火</p> <p>児童が自己の心身を開放し、火山噴火というイメージの世界に没入できるよう具体的な言葉を掲示し、班での教え合いにも使えるよう準備しましょう。</p> 	<p>★【知②】（観察・学習カード）</p> <p>○ 題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊っている。</p>
3	<p>○ ひねりや回転、高低差などを生かした動き</p> <p>大型台風接近</p> <p>気づきやアドバイスを伝え合うことができる交流タイムや、動きを改善できるバージョンアップタイムなどを設定しましょう。</p> 	<p>★【態②】（観察・学習カード）</p> <p>○ 仲間のよい動きを見付けたり、自分で考えた動きを伝えたりしようとしている。</p>
4	<p>○ 自分たちで課題を選択し「なか」を考える</p> <p>「はじめ—なか—おわり」の動き</p> <p>・グループでひとまとまりの動きにしよう。</p> <p>自分たちの動きを再確認できるようタブレットなどの ICT 機器がすぐ活用できるように準備しましょう。</p> 	<p>★【思①】（観察・学習カード）</p> <p>○ 表したい感じを強調できるように、動きに変化と起伏をつけたり、群の動きを工夫したりして踊っている。</p>
5	<p>○ ひとまとまりの動きを考える。</p> <p>「はじめ—なか—おわり」の動き</p> <p>・グループでひとまとまりの動きにしよう。</p> <p>・ミニ発表会をしよう。</p> <p>児童が自分たちで実際に動きながら、どんな動きができるか伝え合う時間を設定しましょう。</p> 	<p>【思②③】（観察・学習カード）</p> <p>【態②】（観察・学習カード）</p>
6	<p>○ 発表会をする。</p> <p>・発表会へ向けて最終練習をしよう。</p> <p>・見た感想を出し合おう。</p> <p>いろいろな動き方があることを伝えたり、動き方を工夫している児童を紹介したりしましょう。</p> 	<p>★【知③】（観察・学習カード）</p> <p>○ 「はじめ—なか—おわり」の構成を工夫した簡単なひとまとまりの動きにして、感じを込めて踊っている。</p>

2 単元における系統等

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
小学校学習指導要領第5学年及び第6学年 [知識及び技能] ア 表現の行い方を理解するとともに, いろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり, グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすること。 [思考力, 判断力, 表現力等] ア 自己やグループの課題を見つけ, その課題の解決の仕方を考えたり, 課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んだりすること。 イ 課題の解決のために自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 [学びに向かう力, 人間性等] 運動に積極的に取り組み, 互いのよさを認め合い助け合って踊ったり, 場の安全に気を配ったりすること。	
運動の価値	
高学年の表現運動は, 「表現」及び「フォークダンス」で内容が構成され, これらの運動は, 自己の心身を解き放して, イメージやリズムの世界に没入してなりきって踊ることが楽しい運動であり, 互いのよさを生かし合って仲間と交流して踊る楽しさや喜びを味わうことができる運動である。	
本単元における系統	
(※下記の動きや技能を習得する過程で, 児童の実態に応じて運動の特性に触れ, 楽しさや喜びを味わわせる。)	
【第1学年及び第2学年】 表現リズム遊び (ア 表現遊び) ○鳥, 昆虫, 恐竜, 動物園の動物など, 特徴が捉えやすく多様な感じを多く含む題材 ○飛行機, 遊園地の乗り物, おもちゃなど, 特徴が捉えやすく速さに変化のある動きを多く含む題材	
【第3学年及び第4学年】 表現運動 (ア 表現) ○具体的な生活からの題材 身近な生活の中から特徴が捉えやすく多様な感じの動きを含む題材 ○空想の世界からの題材 未知の創造が広がる題材や忍者や戦いなど二人組で対立する動きを含む題材	
【第5学年及び第6学年】表現(イ フォークダンス) ○日本の民謡 それぞれの地域で親しまれている民謡や日本の代表的な民謡の中から軽快なリズムの踊り方や力強い踊りなど, 特徴や感じが異なる踊りや簡単な動きで構成されている踊り ○世界のフォークダンス 世界の国々で親しまれている代表的なフォークダンスの中から, 特徴や感じが異なる踊りや簡単な隊形・ステップ・組み方で構成される踊り。	【第5学年及び第6学年】 表現 (ア 表現) ○激しい感じの題材 生活や自然などから変化や起伏のある動きを含む題材 ○群(集団)が生きる題材 生活や社会, 自然などから特徴的な群の動きや迫力を生かせる題材 ○多様な題材 社会や生活のいろいろな印象的な出来事から個人やグループで選んだ関心のある題材
【中学校第1学年及び第2学年】 G ダンス(ア 創作ダンス) ○多様な感じ 生活や自然現象, 人間の感情などの中からイメージを捉え, 緩急や強弱, 動と静などの動きを組み合わせ変化やメリハリをつけて表現する。 ○群(集団)の動き 仲間と関わり合いながら密集や分散を繰り返し, ダイナミックに空気が変化する動きで表現する。	

3 指導に当たっての留意点

- 単元前半では、基本的な技能を習得するためにひと流れの動きで即興的に踊り、単元後半では、学習したことを生かして簡単なひとままとりの動きで踊ることができるようにする。

考えてすぐ踊るのはとっても楽しそう。みんなでひとままとりの動きを作るのも楽しそう。早くやってみたいな。



- グループで動きを見せ合う「交流タイム」を設けて、互いのよさや改善点を伝えながら動きを高め合っていくことができるようにする。



交流タイムで動きを見せ合い、自分たちのいいところや改善点を教えてもらえるのはいいね。他のグループの動きも参考になるね。

- 表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に踊ったり、「はじめーなかーおわり」を付けた簡単なひとままとりの動きにして踊ったりすることができるようにする。



イメージした動きをひと流れで表現していくのは楽しそうだな。みんなのイメージを集めるといい表現ができそうだね。

<運動が苦手な児童や意欲的でない児童等への配慮の例>

- 授業の導入部で簡単なリズムダンスを取り入れ、教師と児童と一緒に踊り、心と体をほぐし、主運動にスムーズに入ることができるようにする。



リズムに合わせて踊るのは楽しいな。みんなと一緒にやると心も体もなんだかいい気持ちになるね。

- 本時のねらいに迫るようなよい動きをしている児童を積極的に褒め、他の児童に紹介し、参考にさせることで互いに学び合うことができるようにする。
- 創作表現の経験が少ない場合は、「自然現象」のイメージを持てるように動画や写真を用いて動きのヒントにできるようにする。

表現って難しそうだけど、写真や動画があるとイメージが膨らむし、友達との話し合いにも有効だね。



- 創作表現の経験を補うために、単元の前半には即興的に踊ることを重視して、グループでひと流れの動きで踊る時間を多くとり、技能の習得を図る。そして、単元後半は、前半で習得した技能を活用し、グループごとにひとままとりの動きで踊り、互いに交流する場面を多く設定する。
- どんな擬音語や擬態語を使うと自分の表現運動に合っているか考えさせながら取り組ませ、メリハリのある踊りができるような手立てをとる。

4 本時の学習例

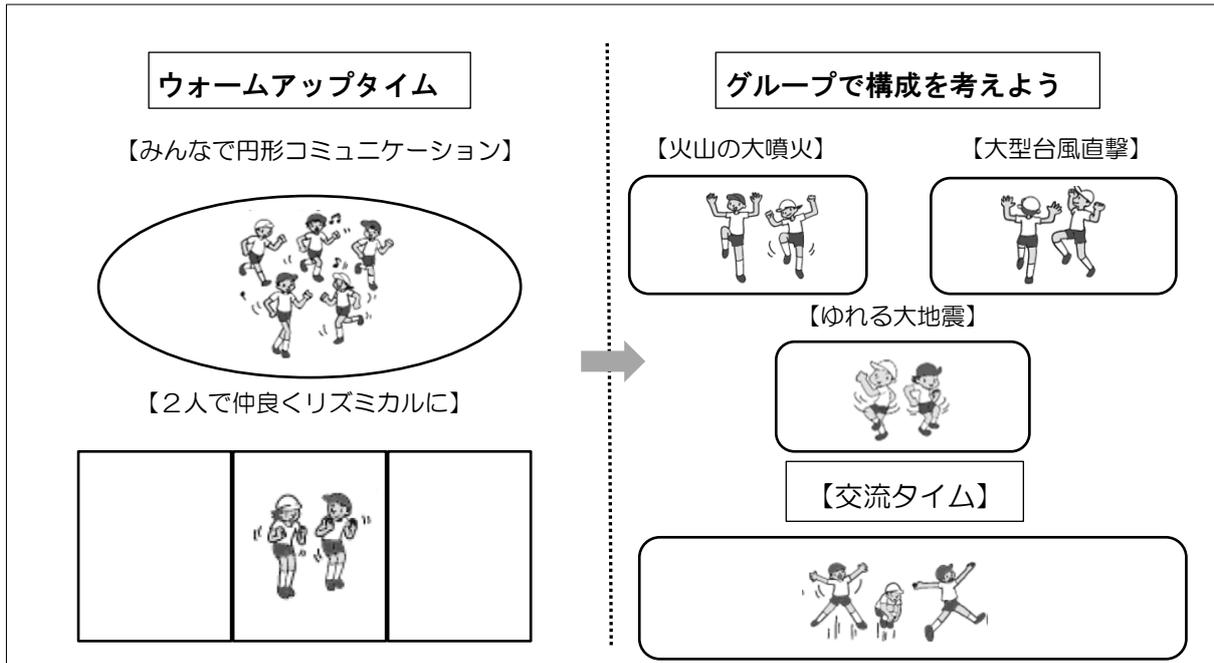
(1) 目標 盛り上げたい場面「なか」を明確にし、その場면을強調する簡単なひとまとまりの動きを考え、表現することができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される児童の発言)
導入	5分	<p>1 課題をつかむ</p> <p>① ウォームアップタイムをする。 ◇ 簡単な動きをみんなで楽しもう。</p> <p>② リズムに合わせて踊る。 ◇ 友達と一緒に動きを合わせ、リズムに乗って踊ることを楽しもう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【めあて】 表したいイメージを強調できるように動き方を工夫して踊ろう</p> </div> <p>③ イメージが強調されるような動きについて問いを持つ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【学習課題】 表したいイメージを強調するには、どんな動きがあるのだろう。</p> </div>
展開	30分	<p>2 課題の解決に向けて活動する。</p> <p>① 自分たちで選択した課題で、いちばん表したい場面の動きを考え、ひとまとまりの動きにして踊る。 ◇ 「火山の大噴火」では、爆発噴火した瞬間を表現できる踊りがいいね。 ◇ 「大型台風直撃」では、風で動く木々や横なぐりの雨にうたれる動きを表現できるといいね。 ◇ 「ゆれる大地震」では、地震のゆれが大きい様子を表現できるといいね。</p> <p>② 自分たちで考えたストーリーが伝わるように動きを考える。 ◇ 「はじめ—なか—おわり」のひとまとまりの構成をみんなで作ろうよ。 ◇ どんな動きがあるか全体で考えて踊ってみよう。</p> <p>③ 交流タイムをする。 ◇ グループ同士で交流して、「はじめ—なか—おわり」の場面の変化が分かりやすいか確認しよう。 ◇ 激しい感じが表現できているかどうか伝え合おう。 ◇ アドバイスをもらったので動きを修正してみよう。</p> <div style="border: 1px dotted black; padding: 5px;"> <p>【期待される学びの姿】 互いの動きのよさを認め、伝え合い、表現したいイメージが強調されるように場面の変化を考え、表現しようとしている。</p> </div>
終末	10分	<p>3 学習課題に対するまとめ、めあてに対する振り返りをする。</p> <p>① 今日の学習を振り返る。 ◇ 今日の「素敵な表現者さん」は〇〇さんです。全身を使って強弱や緩急のある動きができていて、すごいと思いました。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【まとめ】 イメージした動きを強調するためには、強弱や緩急、ひねりや回転、高低差など学習したことを工夫して表現しするとよいことがわかった。</p> </div> <p>② 学習カードに本時の振り返りを書く。 ◇ 次はミニ発表会に向けて踊りを考えるんだね。 ◇ ミニ発表会では今日学んだ動きの工夫を生かそう。</p>

過程	時間	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図, 内容, 方法等)
導入	5分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師の言葉かけに合わせて, 主運動につながる動きを取り入れる。 ○ BGMを流しながら, 一つ一つの動きを丁寧に行うようにする。 ○ 仲間とふれあうことで, 心をほぐし, 楽しく運動に入ることができるようにする。 ○ 大変な様子が強調されるような動きは, どんな動きなのかを問う。 ○ 前時までで学習してきた, 強弱や緩急をつけた動き, ひねりや回転, 高低差などの動きを生かして大変な様子を強調できるよう児童同士で確認する。
展開	30分	<ul style="list-style-type: none"> ○ いちばん表したい場面の動きをグループで考えさせ, ひとまとまりの動きで踊らせる。 ○ 「火山の大噴火」で, 爆発噴火のイメージを膨らませるようにする。 ○ 「大型台風直撃」で, 風や雨の強さが分かるような動きを考えさせる。 ○ 「ゆれる大地震」で, 大地震の威力の大きさを想像させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>○○さんのグループの動きはすごく面白いね。みんなもさらにイメージを膨らませ, 動きを工夫してみよう。</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちで考えたストーリーをイメージボードに書かせ, 「はじめ—なか—おわり」の構成について意見を出し合い, 表現を工夫させる。 ○ 場面の変化で激しい感じが見られるか伝え合わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【具体的評価規準】思①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 表したい感じを強調できるように, 動きに変化と起伏をつけたり, 群の動きを工夫したりして踊ろうとしている。 </div> <p>【到達していない児童への手立て】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達の動きのよいところを紹介し真似することで, イメージを膨らませ, グループで動きを作り上げるよう寄り添いながら指導する。
終末	10分	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習カードをもとに振り返りを行う。 ○ 友達のよい動きや, よい言動を認め合えるような言葉かけをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>グループのよい動きに気付くとともに, ○○さんの動きに注目して気づきをよく発表してくれましたね。次の時間もいろんなよい動きに挑戦しよう。</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> ○ 次時の学習の予定を確認する。

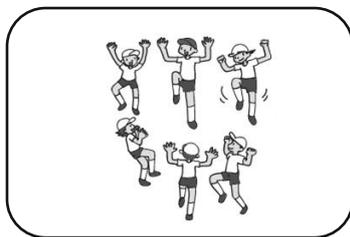
5 場の設定(例)



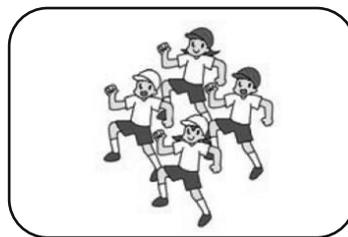
6 ICT活用計画

電子黒板による場の設定や練習方法、技のポイントなどの提示

例：自分たちの動きを振り返り、次の課題を見つけ、主体的に活動するためにタブレット端末を活用し、課題に迫る動きを共有する。



【自然現象のイメージ】



【全体の動きを確認しよう】

グループ全体の動きを確認したり、友達の動きを確認したりして、「はじめ-なか-おわり」の構成を確かめる。

※ 各グループに動画撮影用のタブレット端末を設置し、自分たちの動きをその場ですぐに確認できるようにする。

7 見方・考え方を働かせて、終末や次時以降の学習に生かす計画

見方・考え方を働かせ、単元の終末で次の学習に取り組んだり、次時以降の学習に生かしたりする。

例1：学習成果発表会、児童集会、学年集会等で自分たちが考えた自然現象の動きについて発表する。

例2：体全体を使って表現することを生かし、「A体づくり運動（体の動きを高める運動（イ）巧みな動きを高めるための運動）」の動きに取り入れる。

例3：グループでよりよい動きをもとめる話し合い活動を生かし、「Eボール運動（アゴール型、イネット型）」において、作戦を立てたりルールを決めたりしてゲームを楽しむ。